

## 新里町の小学生の自殺事件に関連して問う

石川 眞男 議員



**Q** 「気づき、つなぎ、見守り」が自殺予防のキーワードだ。玉村町の職員室の雰囲気は、教員同士の支え合い、補い合いの雰囲気に満ちているか。

**A** 教育長 教員同士が、職員室で子どもや授業について情報交換する姿などをよく見かける。「こ

んな授業がしたい」「こんな学校にしたい」と夢を語る職員室になってほしいし、現実そのような方向になっっている。一人の子どもの成長を教員全員で見守る「学校担任」という視点で対応したい。

**Q** 高齢化社会を見据え、大店舗では対応できない小店舗を地域につくり、歩いて暮らせる地域づくりを模索できないか。

**A** 町長 地域の商店が顔の見える身近な交流の場となるよう、融資制度等の支援をしたい。また、さまざまな関係者の意見を聞きながら研究したい。行財政改革は必要だが、今後の行政需要

や職員の年齢構成から考えると、むしろ職員を減らすことから生かす方向に力点を要する必要があると考え、来年度の採用予定はどの程度か。

**Q** 公安情報や尖閣諸島沖での漁船衝突映像が流出しているが、町の情報管理は大丈夫か。

**A** 町長 情報を扱う個々の職員の意識を高めるための研修を毎年行っている。委託先とは、契約約款に秘密保持契約を追契約するなどの対応をしている。



休み時間に遊ぶ子どもたち

## 22年産米の不作と国のTPP交渉に関して

斉藤 嘉和 議員



**Q** 昨年の猛暑は、戦後3番目と言われる米の不作、減収をもたらした。農家は、収量減、品質の低下、販売価格の値下がりのトリプルパンチに見舞われた。町はこの事態にどう対処するか。

**A** 町長 ゴロピカリの品質低下については、

全作付面積322ヘクタールを被害面積として確定し、県に報告した。県では災害条例を適用させ、10アール当たり約2900円を農家に支給することとした。その3分の2の約2000円を県が、残り約1000円を町が負担する。

**Q** 品質低下による農業共済の補償はどうなるか。

**A** 町長 被害申告を取りまとめ、損害評価

を行った。国へ、品質低下による特例措置を申請中である。

**Q** 温暖化の時代にゴロピカリは適さなくなった。品種の見直しを県やJAと協議すべきだ。

**A** 町長 地域の声を、県などに要望する。  
**Q** 国のTPP交渉が議論を呼んでいる。国内農業の整備が進まなければ、壊滅的な打撃を受けることになる。町はどう対処していくか。

**A** 町長 町にしっかりと根づいた産業としての農業の維持発展を目指すし、緑の田園都市を守っていく。



カントリーエレベーター

## 利根川新橋（与六分～前橋南IC）の早期建設を

村田 安男 議員



**Q** 計画から23年たつが、利根川の新橋建設はどうなっているか。

**A** 町長 平成10年度に利根川新橋建設促進協議会を立ち上げ、県や関係組織に要望してきた。産業振興、地域経済の活性化等を考えると、大変重要な事業だと考えている。



この先に橋があれば…  
(与六分・前橋線 板井T字路)

**Q** 平成23年3月には、北関東自動車道が開通する。さらに、現在進行中の前橋南IC周辺開発が望まれるところだが。

**A** 町長 東毛広域幹線道路の開通により、今以上に通勤時の渋滞が予想される。

**Q** 交通の利便性、安全性を考えると、新橋建設促進協議会を通じ、県などに積極的に働きかけていきたい。

**A** 町長 県道と利根川堤防との間の道路整備は、手つかずの状態である。日常生活に支障が出ている。災害時が心配だ。

**Q** 町長 問題は理解している。県道昇格も考えている。

**Q** 視野に入れ、努力したい。

**A** 町長 玉村町は、スイングセンターが、町の中心部に集中している。車などの移動手段がない方は、乗合タクシー「たまりん」を活用していただきたい。

**Q** 「たまりん」は、日常生活の利便性を考え、運行すべきでは。

**A** 町長 いろいろな角度から考え、高齢者の日常生活に支障を来さないようにしたい。

**Q** 町内では、事故や事件が頻繁に起こっている。児童が不審者に追いかけることもある。こうした情報を、町民へ伝える方法が町にはない。高崎市や大泉町では、登録した人に、災害・防犯、所在不明者の情報をメールで配信している。多くの人に、早急

## 緊急連絡メール配信で、事件や災害を伝えよ

備前島 久仁子 議員



**Q** 町内では、事故や事件が頻繁に起こっている。児童が不審者に追いかけることもある。こうした情報を、町民へ伝える方法が町にはない。高崎市や大泉町では、登録した人に、災害・防犯、所在不明者の情報をメールで配信している。多くの人に、早急

**A** 町長 県警の無料配信メールと、伊勢崎消防の電話による災害情報案内を利用してほしい。

**Q** 個人がそれぞれ県警の配信メールに登録すれば、群馬県中の情報が入るが、町民が欲しいのは町の情報だ。町で集めた情報を、登録した人にメールで配信する。所在不明者情報などは、役立つはずだが。

**A** 町長 生活環境安全課長の町に情報が入ってこないのが現状なので、情報をどう集めるか課題も多い。

**Q** 町長 県警の無料配信メールと、伊勢崎消防の電話による災害情報案内を利用してほしい。

**A** 町長 生活環境安全課長 生活環境安全課長 生活環境安全課長 生活環境安全課長

**Q** 町長 生活環境安全課長 生活環境安全課長 生活環境安全課長 生活環境安全課長

**Q** 今、緊急災害等を電話で伝える時代ではない。一家に一台は携帯電話を持っている。情報を早く町民にメール配信すべきではないか。

**A** 町長 生活環境安全課長 生活環境安全課長 生活環境安全課長 生活環境安全課長

**Q** 町長 生活環境安全課長 生活環境安全課長 生活環境安全課長 生活環境安全課長

**A** 町長 生活環境安全課長 生活環境安全課長 生活環境安全課長 生活環境安全課長

**Q** 町長 生活環境安全課長 生活環境安全課長 生活環境安全課長 生活環境安全課長



不審者情報などを町民へ伝達する方法が求められている